

為替の月別特徴



月	特 徴
1月	3月に日本の金融機関が決算を迎えるため、金利の高い海外で運用していた資金を日本国内に戻す動きがあり、それを先回りして円が買われやすい（円高傾向）。
2月	米国債の利払い（2月15日）のため、ドルで受け取った利子を円に換える需要が強まり、ドルが売られやすくなる（円高傾向）。
3月	日本企業の決算でポジションの手じまいが発生するため、円高になりやすい。
4月	日本の投資信託や生命保険会社が年間の海外投資計画を行動に移すタイミングであり、1～3月にかけて円に戻した資金を再び海外に持っていく動きがある（円安傾向）。
5月	2月と同様、米国債の利払い（5月15日）のため、ドルで受け取った利子を円に換える需要が強まり、ドルが売られやすくなる（弱い円高傾向）。
6月	4月と同様、各種投資が活発になり、円安傾向に。
7月	理由不明だがドル高（円安傾向）になりやすい。 1994年から2015年までの21年間のうち、15年がドル高（円安傾向）に。
8月	2月と同様、米国債の利払い（8月15日）のため、ドルで受け取った利子を円に換える需要が強まり、ドルが売られやすくなる（円高傾向）。
9月	3月と同様、日本企業の決算で、円高になりやすい。
10月	11月のヘッジファンド決算に向け、マーケットが大きく動く年がある。
11月	2月と同様、米国債の利払い（11月15日）のため、ドルで受け取った利子を円に換える需要が強まり、ドルが売られやすくなる（円高傾向）。
12月	米国企業の決算があり、ドル高（円安傾向）になりやすい。月末はクリスマス休暇のため閑散としているところに税金対策による売買で値動きが激しくなることも。

月別特徴のまとめ

1～3月、8～11月	円高傾向。	4～7月、12月	円安傾向。
4、6月	投資信託や生命保険会社の買いにより円安傾向。		
12月	米国企業の決算で円安傾向。		
2、5、8、11月	米国債の利払いで円高傾向。		
3・9月	日本企業の決算で円高傾向。		

※当該情報の為に利用者の方が損害を被った場合でも、一切責任を負うことは出来ません。情報利用は利用者の方自身の責任でお願い致します。

◎よく当たるFX為替レート予想のブログ (<http://fxblog1.com/>) 株式会社市況.com (<http://www.sikyuu.com/>)